

第3回横浜市中山みどり園第三者評価委員会議事録

議 題	1 施設長等ヒアリング 2 評価総括 3 その他	
日 時	平成22年2月4日（木） 午前9時30分から午前10時30分まで	
会 場	市庁舎8C会議室	
出席者	梅津委員、奥津委員、大溝委員、沼尾委員 (欠席なし) 佐瀬施設長、石射主任・ケースワーカー、今井事務員	
開催形態	公開	
傍聴者	0人	
議 事	1 施設長等ヒアリング 【審議・質疑】	
	委 員	日中活動の中心は、ペットボトルキャップの仕分けになっているが、プログラムの多様化などについて何か考えていることはあるか。
	指定管理者	生活体験的なスポーツや芸術に接する機会の提供や、社会経験の拡大になるような外出をもう少し取り入れていきたいと思っている。ただ、人手もお金も限られているという状況なので、積極的に地域のボランティアの協力も得ていきたいと考えている。
	委 員	地域に開かれた関係性の構築が大切であると思われるが、ボランティアを含め、地域参加型の取組について次年度以降、何か考えていることはあるか。
	指定管理者	地域に開かれた関係性については、中山みどり園に限った課題ではなく、法人全体として議論している課題であり、次年度以降については検討中です。
	委員長	指定管理を受託して、特に意識して行ってきたことは何か。
	指定管理者	地域の中で親から離れた生活がどうできるか、利用者とその家族にとっての安心、レスパイトの視点など利用者本位・家族本位にどうするかということ意識してやってきた。
	委 員	利用者本位や家族本位という視点が入ったということは、中山みどり園の運営が指定管理制度に変わったことで大きく変わった点と思われる。
	委 員	単身での地域生活への移行には様々な資源も必要だが、法人として今後の展望や提言はあるか。
	指定管理者	グループホームやケアホームの量的な拡大の一方、全ての方がグループホームで暮らしていけるかというと、そうではない。重度の障害のある方や医療的なケアが必要な方が地域で暮らしていくためには、専門性の高い職員をグループホームに配置することが必要であり、職員の資質向上が課題であると考えている。
	委 員	法人全体として、理念等全体研修は実施されているようだが、それぞれの事業所の利用者さんの状況にあわせた職員の資質向上のための研修プログラムはあるか。

	指定管理者	<p>嘱託医訪問（年5回）の際のやりとりの中で職員の専門性を高めている。また月に1～2回程度行う、活動室毎のミーティングにおける支援員どうしの意見交換を通じて資質向上を図っている。外部の研修にも、職員体制に支障がない限り、積極的に参加している。</p>
	委員	<p>先ほどの地域生活移行で話の出た、ナトゥールハウス（法人が運営するグループホーム）について、もう少し充実させていくことはできないのか。</p>
	指定管理者	<p>グループホームについては、なかなか高い資質をもった職員が定着しにくいという課題がある。中山みどり園は、グループホームとの関係ではバックアップ施設でもあり、また自主事業として園内宿泊を実施していることから、園内宿泊で積み上げた経験を、次のステップであるグループホームの体験入居へとつながりのある支援を行っていきたいと考えている。</p>
	委員	<p>法人全体の規模が大きく、事業所数も多いので、今後外部監査の導入について積極的に考えていただきたいが、その点はどうか。</p>
	指定管理者	<p>前回の委員会で点検していただいたことを踏まえ、22年度の重点課題として、外部監査の導入について検討し、事業計画の中に盛り込む予定。</p>
<p>2 評価総括</p> <p>審議の結果、別紙評価結果一覧表のとおりとすることとした。</p>		
会議資料	<p>1 評価基準</p>	
その他	<p>・本日の会議録の確認は、大溝委員と奥津委員が行う。</p>	